

## 賛助会員 2020年1月1日～2020年7月31日現在

賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助
下妻SE様	法人1口	佐藤恭子様	1口	岡村勝亘様	1口	森川清様	2口
飯田藤治様	2口	岡村道枝様	10口	斎藤良様	1口	黒須治子様	1口
柿本譲様	1口	伊藤建司様	1口	◇笹森楽譜様	16口	福馬恵美子様	1口
福島保様 (柏屋楽器)	1口	宮崎照子様	2口	宮崎正様	2口	匿名希望様	1口
伊藤賢二様 (伊藤楽器)	法人2口	高橋昭五様	4口	マイハウス様	法人1口	小川好子様	1口
アンサンブル・ル・カ様	法人1口	森山喜代子様	1口	石岡SE様	法人1口	柳原健児様	1口
牧野英一様	2口	久住三枝子様	1口	永瀬美都子様	1口	小澤均様	1口
渡邊佳子様	1口	紅林宏次様	1口	佐藤由梨子様	1口	三浦はるか様	1口
川添保利様	1口	小泉安治様	1口	田淵崇様	1口	高木周二様	2口
松田耕二様	2口	杉山精展様	2口	谷岡憲隆様	1口	高橋孝様 (行政書士)	1口

皆さま、ご協力ありがとうございます。（◇）笹森先生の遺言により、先生の編曲物を特価で各団に配布しています。そのお金をご遺族のご容赦のもと、賛助会に寄贈するものです。



### みんなの広場

ドンドン投稿ください

一言つぶやきも歓迎♪

#### 投稿1 『年齢を重ねると言うことは・・・』 習志野SE 上田繁

長い人生の中で、“奇遇”によって、その後の人生が変わる変曲点は、何度か思い起こされます。これは年齢に比例する関係にもあると思うと、改めて歳を感じる昨今であります・・・ヒマラヤトレッキングに2度までも行くことになろうとは！ 想定外でした。

まだ、現役の夏休み直前のある時に“金曜日の夜行で白馬岳に行くのだけれど、一緒に行かない？”と誘われたのは火曜日でした。その白馬岳登山で病みつきになる出来事が3つも重なりました。白馬岳の山小屋ではなくと太陽光発電の自動販売機を据えていました。街の自動販売機と遜色のない冷えたビールに感激したのは、今から26年も前のことでした。

2つ目は、白馬三山と言われる白馬鑓ヶ岳の中腹・2,100mにある「白馬鑓温泉小屋」は、入浴しながらご来光を仰げる“天空の温泉”でした。3つ目は“消えない流れ星”人工衛星を肉眼で見られたことでした。この白馬岳登山は、その後の人生に大きな変革を与えるました。それまで本格登山は、大学に入った年に、知床の「羅臼岳」（1,661m）に登った程度でしたが「白馬岳」登山の感激は、その4年前の「富士登山」も加味し、“そうだ、50代の記念に、日本百名山を登れるだけ登って見よう”という決心に結び付きました。

そして、3,000m級の百名山を上から攻略しようと思い、北岳、奥穂高、槍ヶ岳・・・、という順に3,000m以上の百名山を踏破しました。“もうこれで満足”という気持ちに浸る一方、大学の10歳先輩・三浦雄一郎氏の“エヴェレスト最高齢登頂”挑戦に注目していました。そして、“ヒマラヤ街道”から誰でもエヴェレストを臨めるヒマラヤトレッキングが、登山の一区切りとしての目標になってきました。

その肩を押されたのは会社の「入社同期45周年」で、行って来たという友人に出会った事でした。その同期会から4ヶ月後の翌年3月、第1回目の「ヒマラヤトレッキング」に単独で出発していました。三浦氏の「80歳最高齢登頂成功」の翌年（2014年）でした。そして、第2回目は、三浦氏の5年目毎のエヴェレスト登頂に、ささやかにあやかりたいと言う思いがあり、迷うことなく実行に移しました（2019年）。

### ❖ 編集後記 ❖

コロナ禍の対策及び、投稿文のご協力を頂きましてありがとうございました。

ほんの数ヶ月前までのコンサートは・・・様々な人々が通りすぎていく「密」なホール。

ざわめきに勇気をいただき、沢山の拍手に人生の活力を覚え、演奏者と観衆の一体感が漂う空間。

夕暮れの向こうには新たなきずな。 遠い昔のようです。

早く収束すると良いですね。

編集長 清水玲子